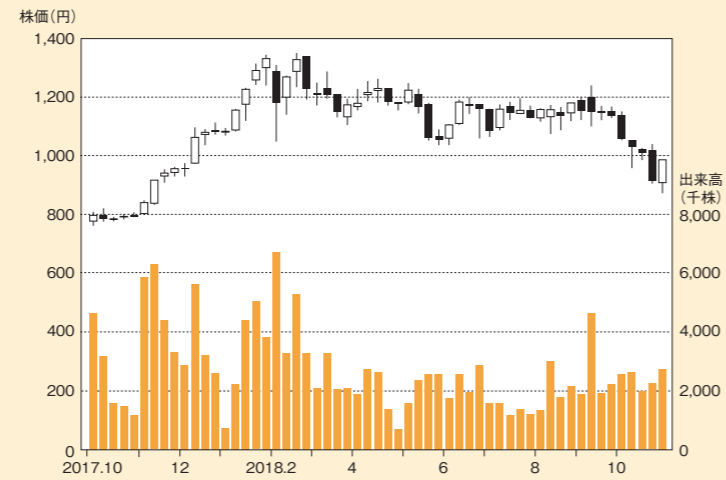


株式の状況 (2018年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 160,000,000 株
- 発行済株式総数 74,573,440 株
- 株主数 28,148 人
- 大株主の状況

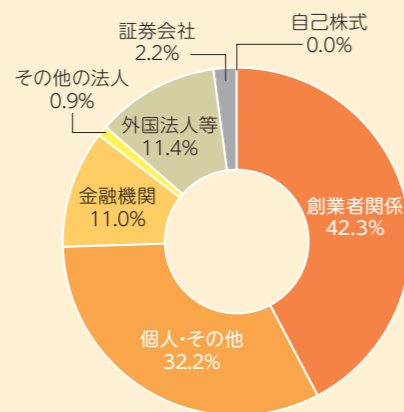
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
佐藤 真吾	18,425	24.7
有限会社佐藤総合企画	12,444	16.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	3,324	4.5
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	3,150	4.2
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	964	1.3
深井 英樹	880	1.2
資産管理サービス信託銀行 株式会社(証券投資信託口)	691	0.9
佐藤 淑子	688	0.9
MSIP CLIENT SECURITIES	569	0.8
JPMC GOLDMAN SACHS TRUST JASDEC LENDING ACCOUNT	550	0.7

■ 株価の推移

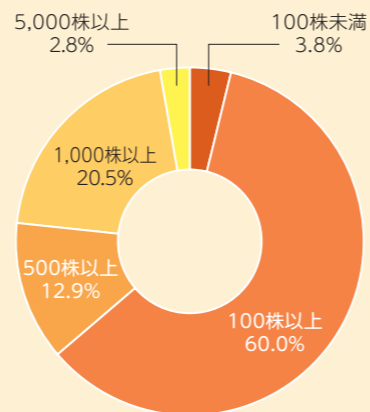


■ 株主分布状況

所有者別分布状況 (株式数比率)



所有株数別分布状況 (株主数比率)



会社の概要 (2018年9月30日現在)

社名	株式会社 夢真ホールディングス	証券コード	2362
本社	東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング22F	役員	員 (2018年12月19日現在)
設立	1980年1月	代表取締役会長	佐藤 真吾
代表者	佐藤 大央	代表取締役社長	佐藤 大央
資本金	8億514万円	常務取締役	添田 優作
従業員数	連結:8,187人 単体:5,514人	取締役	小川 建二郎
事業内容	建設技術者派遣事業 エンジニア派遣事業 その他事業	取締役	佐藤 義清
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)	社外取締役	坂本 朋博*
		社外取締役	小田 美紀*
		社外監査役	高橋 宏文*
		社外監査役	六川 浩明*
		監査役	楠原 正人

*東京証券取引所の定める独立役員

ホームページのご紹介



当社ホームページの「IR情報」では、過去の決算短信などのIR情報を見ることができます。

新卒・中途採用強化の一環として「採用ページ」の充実を常に図っています。

<https://www.yumeshin.co.jp>



株式会社 夢真ホールディングス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1
丸の内永楽ビルディング22F

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK

本冊子は環境保全のため、
植物油インキで印刷しています。



[証券コード:2362]

2017年10月1日～ 2018年9月30日 第40期 株主通信

株式会社 夢真ホールディングス



トップメッセージ

積極的な採用活動による 技術者数の増員を ドライバーに、 さらなる成長を追求

代表取締役社長
佐藤 大央



第40期(2017年10月1日から2018年9月30日まで)の株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

日本全体として労働人口が減少し、多くの業界で人材の不足が発生している中、当社グループが属する技術者派遣業界における需要は、引き続き活況となりました。特に、高齢化及び若手不足が顕著な「建設業界」、そして、技術革新が著しい「IT業界」の人材不足は一層深刻な状況となっており、その対応が国内における喫緊の課題となっています。当社グループでは、建設業界及びIT業界に対し「高付加価値の人材」を供給するべく、人材の採用ならびに育成に注力し、人材不足の課題に積極的に対応してまいりました。

その結果、売上高に関しましては、技術者の増員に起因した建設技術者派遣及びエンジニア派遣事業の伸張によって、前期比9,908百万円(32.5%)増加の40,419百万円となりました。

営業利益に関しましては、建設技術者派遣事業にて

派遣単価及び稼働率が上昇したことに加え、採用費をはじめとしたコストのコントロールを徹底したことによって、前期比2,824百万円(119.6%)増加の5,186百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、前期比2,209百万円(154.9%)増加の3,635百万円となりました。

当社グループは、引き続き主要事業である建設技術者派遣事業及びエンジニア派遣事業の積極的な採用活動による技術者数の増員をドライバーとした業容の拡大に努めてまいります。2019年9月期の業績につきましては、売上高50,000百万円(前期比23.7%増)、営業利益6,000百万円(前期比15.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,100百万円(前期比12.8%増)を予想しています。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

2018年10月～の事業ポートフォリオ

報告セグメント	会社名
建設技術者派遣事業	夢真ホールディングス ※夢ソリューションズ(IT関連事業)を2018年10月1日付で吸収合併
エンジニア派遣事業	夢テクノロジー ※夢エデュケーション(教育関連事業)を2018年8月1日付で吸収合併 クルンテープ
その他(人材紹介)	夢エージェント、YUMEAGENT PHILIPPINES、YUMEAGENT VIETNAM

※「教育関連事業」と「IT関連事業」については2018年9月期よりその他事業に移行した上で、2019年9月期以降は本業の派遣事業に吸収し、当社の強みである派遣事業に集中したシンプルな組織に再編しています。

事業概況

ハイライト

- 連結売上高 …… 人員増加+稼働率上昇で前期比32.5%増収 ⇒ 33四半期連続で増収
- 販管費 …… 採用費のコントロールが機能し、販管費は11%の増加と微増で着地
- 連結営業利益 …… 各技術者派遣の好調+不採算事業の整理が大きく進み、最高益を更新

経営成績

連結 (百万円)

	2017年9月期	2018年9月期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	30,510	40,419	+9,908	32.5%
営業利益	2,361	5,186	+2,824	119.6%
経常利益	2,423	4,940	+2,516	103.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,426	3,635	+2,209	154.9%

建設技術者派遣事業 (百万円)

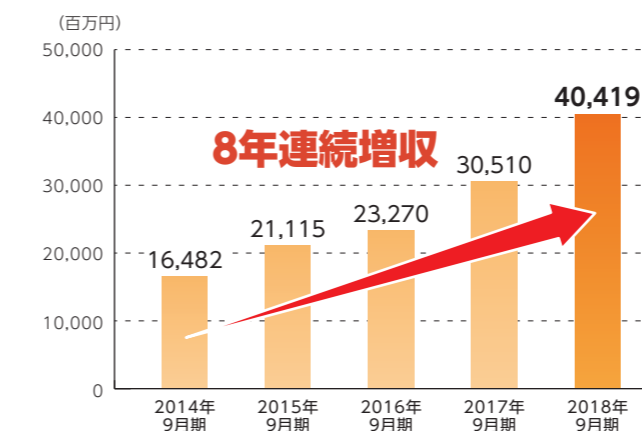
	2017年9月期	2018年9月期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	22,607	29,609	+7,001	31.0%
セグメント利益	2,877	4,980	+2,103	73.1%
期末技術者数(人)	4,402	5,066	+664	15.1%
期中平均技術者数(人)	3,889	4,852	+963	24.8%

サマリー

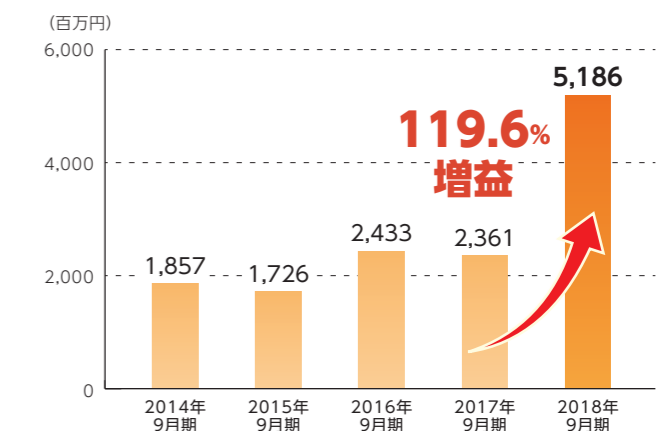
売上高 建設技術者、エンジニアともに人員増加、派遣単価と稼働率の上昇によって、建設技術者派遣において7,001百万円(31.0%)増加、エンジニア派遣において2,993百万円(40.5%)増加しました。

年間採用実績 建設技術者派遣事業の年間採用実績は、2,764人(前期実績2,666人)となり、採用計画(2,500人)を大きく上回って着地しました。また、エンジニア派遣事業の年間採用実績は、1,118人(前期実績941人)となりました。採用計画(1,200人)には若干届きませんでしたが、初の1,000人超の採用実績となりました。

連結売上高の推移



連結営業利益の推移





代表取締役社長 佐藤 大央

夢真グループは、人手不足に直面する「建設業界」と「IT業界」に、高付加価値の人材を供給することで、持続的な成長を実現してきました。夢真グループを統括する夢真ホールディングス佐藤社長に、2018年9月期の成果と今後の事業戦略についてお聞きしました。

(聞き手 フリーアナウンサー・中川 倫子)

「会社を伸ばす」ことにこだわり、技術者を増やすための先行投資を一段と加速

Q まずは、2018年9月期の成果についてお聞かせください。

2018年9月期は、「利益を出す」ことにこだわった経営戦略をとったことで、30%以上の増収に加え、各段階の利益がすべて前年比で倍増以上を達成するという、高い成果を得ることができ、当社の高収益体質が改めて確認できた期だったと言えます。

しかし利益を追求するあまり、当社の成長ドライバーである在籍人数を増やすための採用や退職防止施策へコストをあまりかけませんでしたので、今できる成長を犠牲にしたような感覚があり、個人的には満足する結果とはなっておりません。さらに日々の体感として、非常に多くの需要があり、現状ではお客様のニーズに応えきれない感触があります。これは、市場はあるのに力が足らず成長しきれないということだと捉えていますので、より一層の成長を目指していかなければならないと考えています。

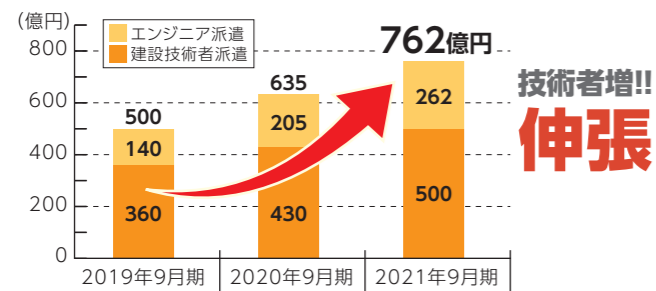
Q 新たな中期経営計画を策定されましたが、その内容についてお教えてください。

これまで発表していた計画と流れはさほど変わっていません。今後増加する需要に対応するべく先行投資を加速させ、主力事業である建設技術者派遣事業に加えて、エンジニア派遣事業においても、積極的な人材採用に取り組んでいくというものです。ただ、以前よりも採用力が上がってきたので、採用人数及び在籍人数を以前の計画と比べて上方修正しています。今期以降「会社を伸ばす」ことを再び前面に押し出し、2020年9月期中に「グループ技術者数10,000人」を達成するとともに、最終年度にあたる2021年9月期には、「連結売上高762億円、連結営業利益100億円」の達成を目指してまいります。さらにその後、技術者数20,000人を達成させ、圧倒的技術者派遣No.1の地位を確固たるものにしてまいります。

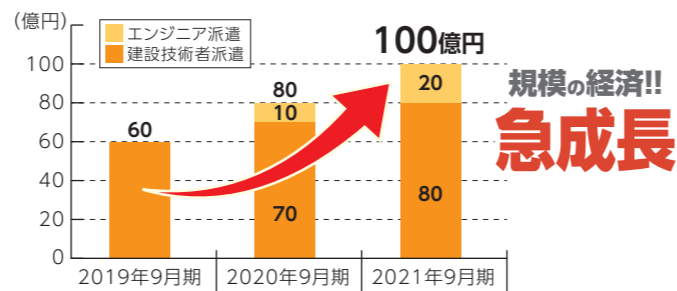
Q 新中期経営計画における建設技術者派遣事業の取り組みについてお聞かせください。

建設技術者派遣事業においては、現在、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、施工管理技術者の需要は旺盛となっています。2020年以降も首都圏をはじめとして全

■ 連結売上高の計画



■ 連結営業利益の計画



国で再開発案件の増加が続く予定であり、加えて2025年の国際博覧会(万博)の大阪開催が決定したことを受け、大阪を中心としたインフラ整備の進展も予想されます。大阪に関しては、現在拠点の移転を考えているタイミングでの決定でしたので、今後大阪には注力していきたいと思えます。こういったように需要は引き続き強い見込みであり、それに対応するべく、年間採用人数2,800人超を継続させ、2021年9月期末には在籍技術者数7,800人を目指してまいります。

また、これまで若手・未経験が採用のメインでしたが、今後は建設業界経験者向け転職・派遣の自社サイト「俺の夢」を活用して、ベテラン層の獲得にも注力してまいります。建設業界では30代~40代の中堅人材が非常に高い人気がありますが、そうした中でも当社はこれまで、20代の若手や女性といった、建設業界があまり受け入れてこなかった人材の活用を実現してまいりました。女性の活用に関して言及すれば、建設技術者という仕事は女性ができない仕事では決してなく、むしろ向いている部分も多くある職種です。こうしたように、様々な人材が受け入れられるような土壌は業界全体に広がりがつありますので、今後もお客様と共に人材活用について模索していきたいと考えています。

Q エンジニア派遣事業についてはいかがでしょうか。

ITエンジニアの不足も今後さらに深刻さを極めていきます。2030年に国内だけで約79万人不足するとの調査結果もあり、さらに生産の自動化、最適化などの技術革新は日々速度を増しています。そのため、今後の需要に対応するべく早期に年間2,000人以上を安定的に採用できる体制を構築します。その結果、2021年9月期末には5,000人を超えるエンジニア集団の実現を目指してまいります。

Q そうした中で、夢テクノロジーの完全子会社化を発表されました。

2019年1月31日を効力発生日として、株式交換により、夢テクノロジーを夢真ホールディングスの完全子会社とする予定です。夢テクノロジーは2019年1月28日付で上場廃止となります。

夢テクノロジーは以前より、短期的な利益より長期的な視点での利益を追求していきたいと考えていました。それを実現するために様々な方法がありますが、この度夢真ホールディングスの完全子会社となることを決定いたしました。完全子会社となることで夢真ホールディングスの資金力や信用力

を利用した、大量採用、営業人員数の増加、営業拠点の新設、研修体制の整備などへの集中投資が可能となります。また、より機動的かつ効果的なM&A、海外採用拠点の展開や海外人材確保が期待されます。今後は、夢テクノロジーの業容拡大と収益力の強化を実現し、夢真グループとして中期経営計画の達成に向けて邁進してまいります。

Q 外国人材の獲得にも力を入れていかれるとのことですが。

派遣業界では、海外の人材を採用して収益化する仕組みづくりが課題となっています。当社としても主にITエンジニアの分野で外国人の活用を積極的に進めたいと考えています。派遣先であるお客様の外国人の方に対する受け入れ体制もあるので、市場もあると認識しています。そうした状況の中で適切な就労環境を外国人の方が築いていくには日本語による円滑なコミュニケーションを取ることが重要だと考えます。そのため、当社グループでは現在、優秀な海外人材を発掘し、日本語教育や技術者教育を適切に行った上で国内の派遣先に派遣すべく、世界各地に日本語学校の開設を予定しています。すでにフィリピンとベトナムに現地子会社を設立し、日本語の教育を行っています。今後は、台湾、韓国、ロシア、ポーランドで日本語学校の開設が確定しており、外国人技術者の獲得、育成を積極的に実施してまいります。元々夢テクノロジーは10年以上前から日本語学校経営を行ってまいりましたので、そのノウハウを活用し展開してまいります。

Q 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題と認識しており、これまで還元性向100%という高配当を実現してまいりました。しかし今後は配当だけに捉われない株主還元施策をとっていきたくと考えております。具体的には、2018年9月期より導入した株主優待制度もその一環でございます。

当社は、今後人材業界自体が成長していく中で、派遣領域でNo.1企業となることを目標に掲げております。人材ビジネスは積み上げのビジネスですので、年々収益体制が強化されていく構造です。そうした中でこれからも様々な形で株主還元を検討してまいります。

株主の皆様には、一層のご支援のほどをお願い申し上げます。

インタビュー紹介

なか がわ りん こ
中川 倫子



フリーアナウンサー。立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科卒業。news every. (NTV) 特集リポーター等で活躍。ビジネス・金融の現場で多数の取材経験を有しています。

成長
加速中!

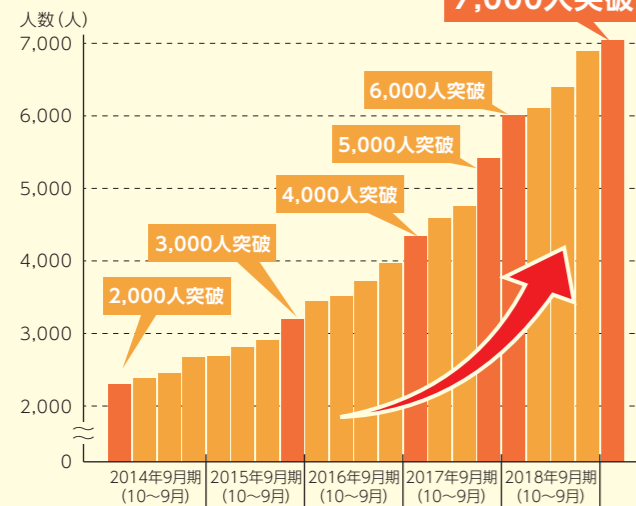
夢真で何が起コつてある?!



夢真ホールディングス
イメージキャラクター
ゆめのことひよこり

当社グループの稼働技術者数7,000人突破!

グループ稼働技術者数の推移



この度、2018年10月に、当社および子会社4社*1を合わせまして、稼働技術者数*2 7,000人を突破いたしました。

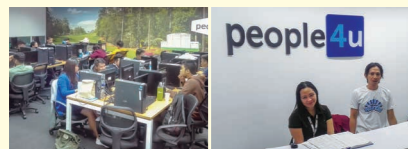
当社グループでは今後さらに成長を加速させ、2020年を目途に、建設技術者と製造・IT業界向けエンジニアを合わせ、グループ稼働人数10,000人を達成すべく、今後も事業計画を進めてまいります。

*1:株式会社夢テクノロジー、P3OPLE4U, Inc. (ピープルフォーユー)、ネプラス株式会社、三立機械設計株式会社

*2:稼働技術者数=研修期間中などの技術者は含まず、実際に派遣先にて稼働している技術者数

当社グループの新子会社をご紹介します。

people4u



P3OPLE4U, Inc. (ピープルフォーユー)

ITエンジニア派遣(フィリピン)

フィリピンにて主にITエンジニア派遣を行っている会社であり、現在約90名のITエンジニアが在籍しています。また、Accenture社と太いパイプを持っています。現在フィリピンでは、国をあげてIT教育に力を入れているため、多くの優秀なエンジニアの採用が見込めます。また、フィリピンでは英語を第二公用語としているため、ほとんどの人が英語を話す事ができます。そのため、今後の派遣先はフィリピンのみならず英語を使う国すべてが視野に入ります。

【直近の業績】売上高:490百万円
営業利益:82百万円

neplus



ネプラス株式会社

IT機器販売・レンタル/
ITエンジニア派遣(日本)

CISCO製品を中心とした「IT機器の販売・レンタル」、そして「ITエンジニア派遣」の二本柱で事業を展開しています。

特にIT機器のレンタルについては、日本国内で数社しか大きく展開できていない独自のビジネスモデルで成長を続けています。

また、約80名在籍しているITエンジニアは合計で約200の資格を保有しており、高い技術と深い知識が強みとなっております。

【直近の業績】売上高:1,271百万円
営業利益:68百万円

SANRITSU DESIGN
三立機械設計株式会社



三立機械設計株式会社

ITエンジニア派遣(日本)

最新の2D・3DCADを駆使した、建設機械や半導体・液晶パネル製造装置の受託設計及びエンジニア派遣を行っています。

三立機械設計は高い技術力を持つ技術者が約40名在籍しており、建設機械分野では大型・小型ショベルやダンプカーなどの設計業務を日本のトップメーカーから受託しております。また、半導体・液晶パネル製造装置分野では、ディスペンサーや真空印刷機などの設計業務を行っております。

【直近の業績】売上高:367百万円
営業利益:38百万円

株主優待

「プレミアム優待倶楽部」をスタート!

夢真ホールディングス・プレミアム優待倶楽部



保有株式数に応じた優待ポイントを贈呈

優待ポイントは、食品、ワイン、電化製品、旅行・体験、こだわり雑貨商品など1,000種類以上の優待商品とご交換いただけます。

夢真ホールディングス・プレミアム優待倶楽部
<https://yumeshin.premium-yutaiclub.jp/>

保有株式数に応じた贈呈優待ポイント数

保有株式数	進呈ポイント数		保有株式数	進呈ポイント数		保有株式数	進呈ポイント数	
	初年度	2年目以降		初年度	2年目以降		初年度	2年目以降
300株~399株	3,000ポイント	3,300ポイント	600株~699株	6,000ポイント	6,600ポイント	900株~999株	12,000ポイント	13,200ポイント
400株~499株	4,000ポイント	4,400ポイント	700株~799株	8,000ポイント	8,800ポイント	1,000株~1,999株	15,000ポイント	16,500ポイント
500株~599株	5,000ポイント	5,500ポイント	800株~899株	10,000ポイント	11,000ポイント	2,000株以上	20,000ポイント	22,000ポイント

優待商品の一例をご紹介します

20,000 point

かに海鮮鍋
4~5人前相当



10,000 point

魚沼産
コシヒカリ
5kgx2袋



5,000 point

イペリコ豚
バラ肉
鍋・
しゃぶしゃぶ用
スライス1kg



3,000 point

<京はやしや>
ぼうむくーへん&フィナンシェ
の詰合せ 8個



現場で
大活躍



安全品質における優良功労者表彰

技術業務課
ながのともや
長野 智哉 (2012年8月入社)

当社技術者の長野は、迅速かつ的確な判断と仕事に対する積極的な姿勢が高く評価され、安全管理及び品質管理における優良功労者として表彰いただきました。

工事の内容は?

高速道路リニューアルプロジェクトの一環として、トンネル直上にある巨大な岩塊を撤去するための仮設工事の一部を担当しています。僕が担当しているのは、岩塊撤去時に、トンネルもしくは高速道路本線に岩塊が落ちないように防護するための落石対策工事です。現場全体としては、「世界

お客様現場より表彰されました。

今後もお客様のご期待に対応すべく、優秀な人材を育成・派遣していきます。

初」とも言われるくらい大きい岩塊を撤去する上に、高速道路を供用しながらの工事になるので工期短縮が重要課題になっていて、新技術や新工法が積極的に採用されています。

現場で苦労したことは?

山奥の現場なので、現場を見渡すのも測量に行くのにも山登りをしていかなければならないことです。あと冬は相当寒くなりますので、道路の凍結には苦労しました。また周辺に熊が出没しますので、みんな常に熊避けスプレーを持って移動しています。

現場での成功例はありますか?

資機材の搬出入や作業員の出入りを確保するスペースをヤードといいます。工事が着工した際の頃に、初めてヤードを自分で設計して自分で施工した時は達成感がありました。今は1人で任せてもらえることも多くなり、すごく充実しています。

仕事をする上での こだわりなどありますか?

通勤する車の中でその日の流れを一つ一つイメージして段取りを考えてから仕事を開始します。こういったことが今回表彰いただけたことに繋がっているのではないかと考えています。

派遣先でのコミュニケーションは どうですか?

基本的にはみんな仲が良いです。言いたいことを言えないということもなく、バランスよくいい関係を保っています。今まで様々な現場を経験しましたが、現場には本当に恵まれていると思います。

息抜きなどはどうされていますか?

休日はバイクでツーリングに行っています。あと平日はもっばらジムです。3ヶ月前まで90kgありましたが、15kg落としました。運動と食事制限して入社当時の体型に戻りました。遠方の現場に行くことが多いのですが、どこも美味しいものも多くて太ってしまいました。



営業部長児玉、担当営業亀山とともに